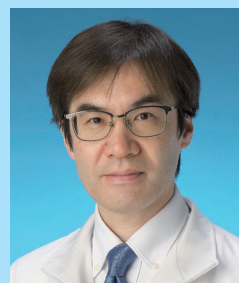




Hospital News

診療科紹介

心臓・血管の病気と 低侵襲手術



獨協医科大学病院 心臓・血管外科 診療部長 川村 匡

心臓や血管には多くの病気があり、胸の痛み、息切れ、動悸、突然の背中や足の痛みやむくみといった様々な症状を伴います。重症の場合は突然死の原因となり、特に心臓病は日本人の死因順位の第2位です。手術は大変有効な治療方法ですが、患者さんに負担がかかる一面があります。近年、治療技術が向上し、患者さんへの負担を小さくすることが可能となっています。今回は我々が積極的に取り組んでいる低侵襲手術(体への負担の小さい手術)をご紹介します。

心臓はポンプ機能をもつ臓器で、全身に血液を送っています。心臓自身にも血液を送っており、心臓を栄養する血管は「冠動脈」と呼ばれます。この冠動脈が関わる病気に胸の痛みを伴う心筋梗塞や狭心症があり、冠動脈が閉塞(つまる)あるいは狭窄(狭くなる)ことが原因です。この病気に手術を行う場合、冠動脈の閉塞や狭窄している部分に迂回路(バイパス)をつくる手術、つまり冠動脈バイパス術を行います。従来の方法では正中切開(胸の真ん中に20cm程度の傷)に心停止(特殊な薬剤を用いて一時的に心臓の動きを止める)、人工心肺(心停止中心臓と肺の役割をする機械)を用いて行っていましたが、当院では心停止を伴わない心拍動下冠動脈バイパス術を積極的に行い、患者さんの負担の軽減に努めています。また、軽症の場合は左小開胸(胸の左側に8cm程度の傷)で、心停止および人工心肺も用いない低侵襲冠動脈バイパス術を行っています。

心臓は収縮と拡張(小さくなったり、大きくなったり)を繰り返しているだけで、血液は一方方向に流れます。これは心臓に「弁」と呼ばれる4つの一方弁が機能しているからで、これに関する病気は弁膜症と呼ばれます。弁が壊れて血液が逆流する、硬く開かなくなり狭窄

してしまうことが原因で、息切れや動悸、足のむくみなどの症状を伴い、重症の場合は心不全を発症します。手術では傷んだ弁を修復する形成術や、人工弁に取り換える弁置換術を行います。当院では従来の正中切開ではなく、右小開胸で行う低侵襲手術を積極的に行っており、傷の小さい負担の軽い手術を患者さんに提供しています。更に最近では最新技術である手術支援ロボットを用いて弁膜症手術を行うロボット支援下低侵襲心臓手術に取り組んでいます。

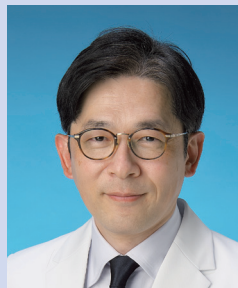
心臓に連結し、全身へ血液を送っている通り路が大動脈です。大動脈の有名な病気に大動脈瘤があります。大動脈にコブ(瘤)ができて部分的に大きくなる病気ですが、治療が必要とされる程度に大きくなっていても無症状であることがほとんどです。しかし、ひとたび破裂すると急激な痛みを伴い、突然死の原因となる怖い病気です。一昔前では大動脈瘤の手術といえば大きな傷で行う大手術でしたが、この病気に関する治療は近年進歩が目覚しく、切らない治療、ほとんど傷が残らない治療である「血管内治療(カテーテル治療)」が普及しており、当院でも精力的に行っております。大動脈瘤に関する血管内治療はすべての患者さんに行えるわけではありませんが、当院では小さな手術と血管内治療を組み合わせることで、できるだけ多くの患者さんが負担の小さい大動脈瘤治療を受けられるよう取り組んでいます。

今回ご紹介した以外にも多くの心臓、血管の病気がありますが、当院では最新の技術と豊富な経験を生かし、患者さん一人ひとりに最適な治療を提供し、安心して治療を受けていただけるよう努めております。

部署紹介

放射線部

部 長 曾我 茂義(左)
技師長 杉岡 芳明(右)



放射線部は、病院の中では目に触れる機会が多くないものの、実際には診療のあらゆる場面を根幹から支える重要な専門部門です。外来・入院・救急・手術といった多様な医療現場で、画像診断やIVR(画像ガイド下治療)、放射線治療を通じて、医療の質と安全性を日々支えています。

画像診断は、ほぼすべての診療科で必要とされる医療の基盤です。X線・CT・MRI・核医学検査などの装置を用いて体内の状態を可視化し、医師が正確な診断と治療方針を決定するための重要な情報を提供します。当院では、高度なCT・MRI・血管撮影装置などを備え、より質の高い画像を迅速に提供できる体制を整えています。新しい技術も積極的に導入し、診療の質の向上に努めています。



フォトンカウンティングCT
[SIEMENS NAEOTOM Alpha.Prime]

救急医療の現場では、24時間体制で検査に対応し、一刻を争う重症患者の診断を即座にサポートしています。手術室においては、手術中にX線透視や撮影を行い、外科医が病変部へ正確にアプローチできるよう支援することで、手術の安全性向上にも寄与しています。

また、IVRにも力を入れており、血管内治療や腫瘍治療など、体への負担が少ない低侵襲治療を専門医と協力して実施しています。画像を見ながらリアルタイムに行うため、より正確で安全な治療が可能です。

さらに、がん治療の三本柱のひとつである放射線治療も担っています。「手術(外科治療)」「薬物療法(化学療法)」と並ぶ重要な治療法として、切らずに治療できるという大きな特長を持ち、早期がんから進行がん、症状緩和まで幅広く対応しています。

放射線を使用する検査に不安を感じる患者さん多いと思いますが、当院では、できる限り被ばくを抑えながら検査が行えるよう、撮影条件の最適化と最新技術の導入に継続的に取り組んでいます。医療被ばく低減施設としての認定も取得しており、患者さんが安心して検査や治療を受けられる環境づくりを大切にしています。

放射線部には、診療放射線技師・医師・看護師・事務スタッフなど多職種が連携し、装置管理、検査手順の標準化、緊急時対応といった高度な専門性を必要とする業務を担っています。患者さんが安心して検査や治療を受けられるよう、見えないところで日々努力を重ね、病院全体の医療を支えています。放射線部は患者さんに安心して検査・治療を受けていただけるよう、これからも質と安全性の向上に努めてまいります。



乳房X線撮影装置
[SIEMENS MAMMOMAT B.brilliant]



デジタルX線TVシステム [Canon Astorex i9]

命のリレーをつなぐため

栃木県赤十字血液センター

病院職員の皆様、日頃より医療の最前線で患者様の命と向き合い、日々多大なるご尽力をされていることに心より敬意を表します。私たち血液センター職員は、医療活動を支える血液製剤の安定供給という使命のもと、日々献血の推進に取り組んでおります。

手術や治療の現場で血液を必要とする患者様は決して少なくなく、皆様が日々接しておられる現実そのものが、献血の重要性を物語っているかと思いますが、血液は人工的に作ることも長期保存することもできないため、安定した医療提供には継続的な献血協力が不可欠です。

しかしながら、今後、人口減少や少子高齢化による血液事業への影響が懸念されており、特に16歳から69歳の献血可能人口が減少することで、必要な献血者の確保が困難になる可能性が指摘されております。

このような状況の中で、獨協医科大学病院様では毎年3回、1月、5月、9月の月末に献血を実施していただいております。病院職員の皆様・学生の皆様の献血ご参加と、呼びかけ、さらにお見舞いに来院されたご家族の方々や近隣にお住まいの方々にもご参加いただき、近年では毎回60名を超える多くの方に献血にご協力していただいております。

この強力なサポートは、輸血を待つ患者様と私たち血液センター職員に大きな力を与えてくださっており、職員一同、感謝の念に堪えません。

皆様ご自身によるご協力はもちろんのこと、患者様やご家族の方々へ献血の必要性をお伝えいただくことが、命をつなぐ大きな力となっております。

患者様の命を守る現場と血液を届ける現場は、一つの大きな命のリレーの中にあります。この命のリレーをつなぐため、どうか引き続き、献血へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



大学での周知の様子



病院正面玄関横での献血実施の様子

～病院へのお手紙に関するご回答～

採血の結果が出るのが遅すぎる。8時に来ている患者さんの結果が出るのが10時はざら。それでいて【待たせすぎ】などのクレーム対応するのが、各科なのはおかしい。もう少し採血までの時間を短縮できないだろうか。採血待ちの時間のしわ寄せが各科の外来医師にきてしまっている。

(回答) ご意見いただき、ありがとうございます。臨床検査センターでは、採血室を拡大し、採血台を増やして採血待ち時間が最大90分から最大40分(平均20分以内)へ短縮するなど対応しております。また採血結果については採血してから1時間以内に結果を返すよう最大限対応しております。今後は、現在の採血人数の増加に対応可能な検査機器の大幅な入れ替えも検討しております。ご理解いただけますよう、よろしくお願いいたします。

今回、私は鼻の手術をしました。その時にT字帯が必要でした。その購入を伝えられたのは、病棟の部屋に入ってからです。入院サポートセンター訪問時に伝えて貰えると、部屋に入ってから再び売店に行く必要はないので合理的だと思います。

(回答) ご指摘ありがとうございます。入院中に必要となる物品の購入や準備に関して、患者さんへ適切に案内できるよう、現在のシステムを見直してまいります。

コロナ問診、毎回煩わしいです。過去の経歴などは一度提出すればよいのではないのでしょうか。

(回答) 平素より院内感染防止対策にご理解いただき感謝申し上げます。ご意見いただいた件につきましては、新型コロナウイルス感染症陽性になる方の中には、短い期間で複数回罹患される方もいるため、記載項目としております。毎回お手を煩わせておりますが、皆様にご記入いただいた結果は全て院内感染防止対策に役立てておりますので、ご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。

会計の待ち時間をゼロに!

**待たずに
帰ろう!**



医療費あと払いクレジットサービスのご案内

診察が終わったら少しでも早く帰りたい…医療費をあと払いにすることで、会計を待たずにすぐにお帰りいただけるサービスです。

登録&利用料
無料

医療費あと払いクレジットサービス ご利用登録サイト
<https://s3.medicalpay.jp/dmuh/login/>

※ご登録から完了まで、安全のためご自身の接続環境に切り替えてください(Wi-Fiオフ等)

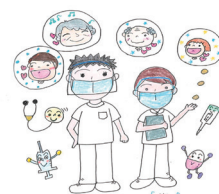


看護師・薬剤師募集

当院では、看護師・薬剤師を募集しております。
採用試験等については、ホームページ採用情報の職員募集サイトをご覧ください。

〒321-0293 栃木県下都賀郡壬生町北小林880 獨協医科大学病院 庶務課職員係

電話 0282-87-2038 (受付時間: 月～土 8:30～17:00) *休日除く E-mail shokuin-b@dokkyomed.ac.jp



当広報誌は当院ホームページよりご覧いただけます。
<https://www.dokkyomed.ac.jp/hosp-m/>

獨協医科大学病院

検索

